

サーモレイヤー騒音測定報告

平成30年2月28日

現場名 市川市立下貝塚中学校屋内運動場床等改修工事

住所 〒272-0821 千葉県市川市下貝塚3丁目13-1

既存床 在来工法  
三洋工業スリーベース101 捨貼針葉樹12mm 大型積層フローリング18mm

改修後床 避難所兼長寿命化対応システム床  
三洋工業スリーベース101 サーモレイヤー 捨貼針葉樹12mm 大型積層フローリング21mm

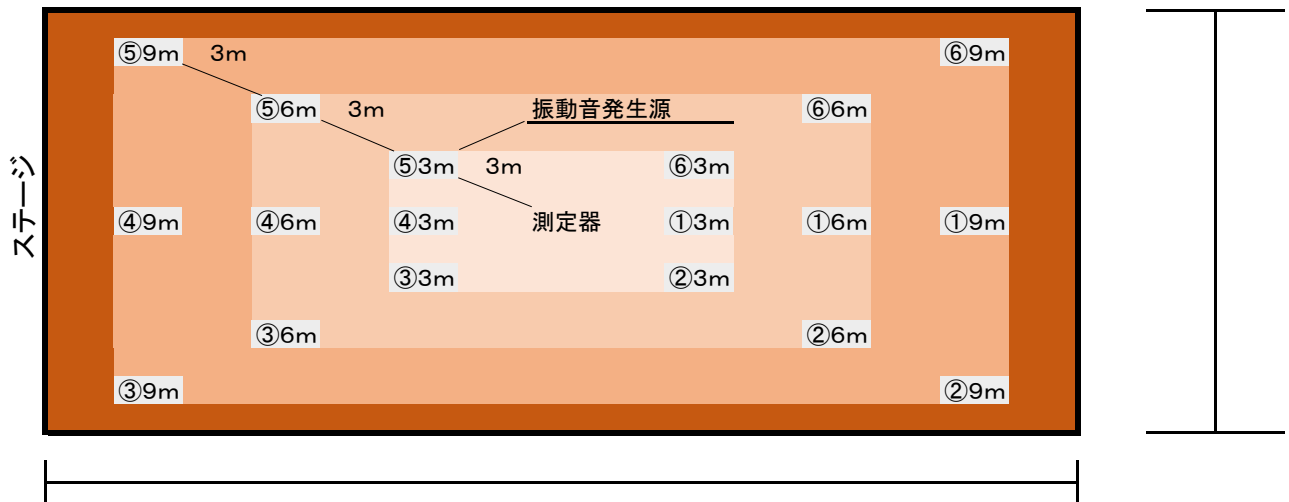
測定日 既存床 2017年7月20日 14:00~14:20 晴 気温31度  
改修床 2018年2月28日 12:30~12:45 晴 気温10度

測定方法 ESデジタル騒音計 バasketボール  
使用機材

收音設定 30~80dB 動特性FAST マイクは発生源方向に向けてセット

振動音発生源 Basketボールを1.2mより自然落下させた時のバウンド音

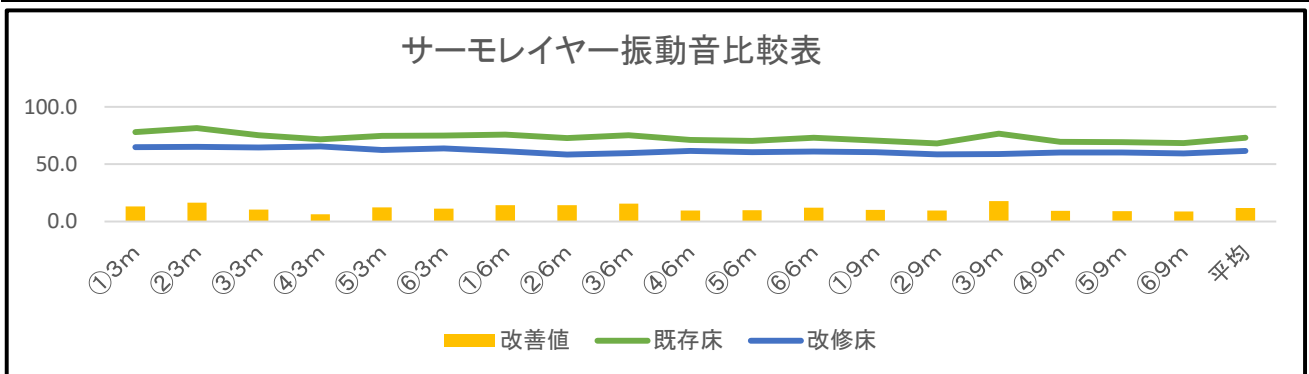
測定位置 体育館の中心より3m6m9mのポイント 対角線2方向 長手方向



ポイント①3m ②3m ③3m ④3m ⑤3m ⑥3m ①6m ②6m ③6m ④6m ⑤6m ⑥6m ①9m ②9m ③9m ④9m ⑤9m ⑥9m 平均

既存床	78.1	81.5	75.2	71.7	74.6	75.1	75.7	72.7	75.2	71.1	70.4	73.0	70.5	68.1	76.6	69.5	69.2	68.4	73.1
改修床	64.9	65.0	64.7	65.5	62.4	63.8	61.4	58.4	59.6	61.5	60.6	61.0	60.4	58.6	58.8	60.2	60.2	59.5	61.5
改善値	13.2	16.5	10.5	6.2	12.2	11.3	14.3	14.3	15.6	9.6	9.8	12.0	10.1	9.5	17.8	9.3	9.0	8.9	11.7

単位dB



建物の内部における測定

建物の内部における騒音レベルを測定する場合は、壁などの反射面から1m以上離れた位置で、また窓などの開口部では1.5m離れた位置で床上1.2m~1.5mの高さに選びます。この場合、室内の音場は一般に極めて複雑になっているので、一点だけでなく数点の位置で測定し、その平均(算術平均またはパワー平均)を求めることが望まれています。